



門 5
L36
5



像

角



右胸の像古代よりありとせしむるにせ下と
り角より端緒昔よりありとせしむるに
は常より大乱より打身

肩祖胸

角像胸
草と下地付
成物と細
付



昭和二十七年
三月十七日
録

一 胸小實^{コサチ}其^ゴ石^{イシ}頭^{カシラ}より志^シて序^{カタ}よりぬきた
 うきより序^{カタ}ありて腋^{アキ}と見^ミ替^カて祖^カ禡^スぐ
 所^{トコロ}とさび色^{サビイロ}の赤^{サキ}と志^シぬり但^ケ計^{ヒキ}實^{ヒキ}
 綿^{ワタ}綿^{カミ}とも志^シぬり志^シて半^ナ分^ブ漢^{カン}わけ
 相^ヒ引^ヒも右^ミ左^ヒの糸^{イト}の色^{イロ}打^ヒ分^ブ前^マより
 志^シぬり相^ヒ敷^キる糸^{イト}糸^{イト}

白^{シロ}の襦^{ジュ}り胸^{ムネ}

一 胸小實^{コサチ}胸^{ムネ}紐^{ヒモ}より志^シて糸^{イト}分^ブの黒^{クロ}漢^{カン}真^{マコト}紺^{コン}糸^{イト}

計^ケ實^{ヒキ}半^ナ分^ブの糸^{イト}糸^{イト}紅^{ベニ}後^{ノチ}半^ナ分^ブの糸^{イト}糸^{イト}藤^{フジ}糸^{イト}
 黄^キ糸^{イト}半^ナ分^ブの銀^{ギン}白^{シロ}糸^{イト}めは胸^{ムネ}口^{クチ}の糸^{イト}より
 半^ナ分^ブくつ想^ケ計^{ヒキ}實^{ヒキ}威^イ分^ブて綿^{ワタ}綿^{カミ}糸^{イト}
 金^{キン}具^グおぬり糸^{イト}と糸^{イト}但^ケ藤^{フジ}岩^{イワ}木^キより
 木^キの岩^{イワ}木^キ丸^{マル}藤^{フジ}糸^{イト}より又^{マタ}岩^{イワ}木^キ大^{オホ}甲^{カバ}より

藤^{フジ}糸^{イト}の胸^{ムネ}

一 胸^{ムネ}鳩^{トビ}胸^{ムネ}綿^{ワタ}胸^{ムネ}おさび色^{サビイロ}胸^{ムネ}の糸^{イト}は幅^{ハタ}より糸^{イト}
 糸^{イト}と糸^{イト}六^ム分^ブより中^{ナカ}志^シぬり志^シて糸^{イト}

乃と前後よ六より下やと恰好能とて藤
八黒塗たて筋よとて綿端根の金具ホミ
色ちり但又筋のちりに花のいゝとて紋と色
朱塗り黒塗りよとて花を紙のいゝとて亦
鉛紋とよし物紋よとて

岩木頭大甚目白皮威胴

一胴岩木頭大甚目塗白皮よとて草蓑と
ち但腰の金具系針皮綿端胸腹金

具より朱乃のいぢくさり太のいゝとて
想さいふとよし

小突一文字頭胴

一胴小突一文字頭想塗まら漆蔭紅系計
突り又漆緋ねとよとて啄木ウ綿嚼胸腹
く今具ホも塗同た

志不草包お威

一胴大甚目頭志不草包栗多ふすよとてため

紅糸カキ想計ケ曳ヒキ但糸ハ想サキ漬キ若キり想カキ白糸ウ
想カキ啄ボク木ボクり想ス救キウ家ケ次ジ糸シ綿ワタ緇カミ緇ワキ
草カ包ツミたタめメ漬スなり

紫ムラサキ表スソ緋ヒ胸ムネ

一胸サシ小コ突ツキさサいイ糸イトうウうウ糸イトとト糸イトうウ想カキ系ケイ紫ムラサキ計ケ
緇ワタ緇カミ緇ワキのノ糸イトをヲ漬ス同ドウのノ但タ計ケ糸シ
想カキ緇ワタ系ケイ糸シ紅ベニしシ時トキハハ表スソ紅ベニよヨ成ナり

小サシ突ツキひヒるルめメこコらラのノ胸ムネ

一胸サシ小コ突ツキ想カキはハ漬ス白シロ糸イトうウ糸イトハハ糸イトのノ想カキ
らラ胸ムネのノ家ケ木ボクとト比ヒなナめメこコらラ綿ワタ緇カミ緇ワキ乃ナリ
金カネ具グもモ黒クロ漬ス事コト

とト比ヒなナめメこコらラのノ胸ムネ

一胸サシ一ヒト文字カタジ頭カビラ想カキさサいイ糸イトうウ糸イトとト糸イト長ナガ一寸イチウ糸イト
かカらラいイ糸イト十ジュウ文字カタジよヨ打ウ合カ一ヒト比ヒなナめメこコ
ちチのノいイ糸イト横ヨコよヨひヒつツとト可カ算サン綿ワタ緇カミ緇ワキのノ
金カネ具グうウ糸イトとト糸イトとト糸イトとト糸イト

其巻の頭じするめ金草とらづ胸

一胸巻の頭黒塗じするめ金草とら
厭綿緹緞の金具木と黒塗するり

白塗の威胸

一胸小突さし文白塗するり紅と白と此を

よてとくふよして胸の角よてとく解のよく
幅三寸程の幅幅よて後と同前綿緹
膠乃金具黒塗するり胸板おははよ金彩

よて猪のよくの藤給前よ定はよ定はツシ
恰ぬ見合次第

山道頭腰帯り胸

一胸山乃頭腰帯は一枚よて唐草包を
とよ金丸龍高時法後ハ巻山乃頭黒
塗天鵝絨啄木とつりよまませり綿緹
胸緞の金具木黒塗するり

黒草包胸

今具丸藤岩木塗ハハ分お他如年おり
金粉い川り穿り

矢管頭鵝巻草計曳腕

一 腕矢管頭逆威よ志て想小甚月海
く鵝巻草を計曳綿綿胸綴今具
大あめなり他腕裏想今なり

真鍮包腕

一 佛腕想と志んらうよ志て包想年おり

腕の慶梅綿目よ志て想腕新梨子地よ
らかーつろよ唐草とませそ綿
の今具朱木他志の今唐草と切
年時絵う把教房次第

志んら何型腕

一 腕志んら腕角三不志んら腕
真甲八幅三寸五歩やと八大平筋申
さし地志んら志んらあ海跡前よ志
之後

正令衣の象眼前後より作り終り終
綿緹緞の令具亦黒塗の事

寄志が草下澤写胸

佛胸腰こころん魚鱗頭さび色計袋糸
淺黄う角胸ハ寄志が黒草包前後
さう行いたう時絵想耳とり赤洞廣痛紅
綿緹緞令具さび色有り

立雲形胸

一佛胸立雲形前後より六筋雲形ハ黒く胸ハ
銀と指込赤洞の半縹緞より作り終り
さびりまして四歩一乃縹し
頸計袋腰二色右同計袋糸天絲緞綿
縹緞今より作りさび色とり指込糸よりし

點小實白糸威

一胸想黒小實想白糸う啄木綿緹胸緞の
令具袋木付黒塗胸板令より月費紋横

又並く可なりなり

一文字頭鉄の標胴

一胴一文字頭耳拵返黒塗惣さび色鉄丸
標黒塗締結糸金具木塗同糸惣糸
了らぬ一黒塗より他惣胴黒塗鉄の標
を并漆の黒塗より又ハ花乃は一標
もろ又紋はく乃す一標なり
好次第

白檀の胴

一佛胴金白檀胸二候暮石頭計密緋天孫
緋糸腰二候乃頭より計密糸同糸
の目黒時絵の獅子牡丹の柄枝や
能書屋一締帯細く令具同前なり

黒糸毛引乱星威の胴

一胴小突了文字頭より惣糸計成白
き乱星白糸の威切惣胴ハ黒塗締結

綴し金具黒いなり

鑿山乃威分胴

一胴一文字頭計書五色糸と以山乃威分

糸場鑿りありくと凡ゆる様威しわく

細き也綿織の金具木黒漆なり他右

のく色糸と以紐留りの威切とあり

熟朱の威胴 古漆小櫻ト云

一胴小實熟朱紅計書綿織金具

朱なり他朱白糸とあり

熟朱漆黄威胴 同緋

一胴小実熟朱漆黄糸計書綿織の金

具朱漆なり他熟紅とありと水色の糸も

熟朱漆黄威胴 同二色

一胴小実熟朱漆黄糸計書他銀金具

木胸織の金具なり銀の眼座

も他右のく白糸計書揚えつれ前

若くはとて威とも

今小字サテ想系イト威トシ

古代有
系能ト云

一 胴金小字想系計中チ綿ワタ嚙カミ糸ワキ

鼻ホ想今たり

将基ギ願カレラ想カミ墨スリ産スリしカミ胴

古代有

一 胴将基ギ願カレラ想カミ墨スリ産スリしカミ綿ワタ嚙カミ糸ワキ

金鼻ホハ思ぬりなり

一 胴ニ文字願カレラわづらカミしカミ胴

一 胴カミ想カミ一文字願カレラ計チ中チへチりチとチかけチるチ系チ想チ一チ

一 綿ワタ嚙カミ糸ワキ今鼻ホカミ想カミ産スリしカミ

一 節フシ甚アラ目メ産スリ胴カミ

一 胴一文字願カレラ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ

一 産スリ想カミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ

一 今鼻ホカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ

一 口クチ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ

一 胴カミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ一カミとカミ

てうらうらひを胸綿ワタ嚙カミた玉掛タマカケとつた
引懸ヒキケてはく衣裏ウラ白ハクなり鼻紙袋ハナシ袋フクロも掛カケ
とつた計ケ美未ミミ珠シ目付メのつた付ツケり
のしつ仕付シツシケり袖スエ教キウ言ゴン但タ胸ムネ像イのつた付ツケり
教キウ言ゴン次ジ先セン胸ムネ裏ウラ如ニ帯オビ一ヒト弁ヘン胸ムネ裏ウラなり
口クチつた胸ムネ裏ウラなり

北背キセ割ワリの胸

一古コ代ダイより背セ割ワリの胸ムネ実サシ頭カシラ漢ヌリ赤アカ教キ言ゴン

よりうらうらひ後ノチより合アヒ押ツケ付ケ肩カタと通ツ申マシは
纏モレをうら若ニ武ブつ是コトは紅ベニ糸イト糸イト何ナニ色イロなり
八ヤチ打ウチ唐カラ打ウチ總ソウ角カク角カク綿ワタ綿ワタ首カビ手テ出デたり
うらうらひのしつ仕付シツシケり板イタ但タのしつ仕付シツシケり
帯オビの胸ムネと用ヨウたり
右ミダリ胸ムネのしつ仕付シツシケり記キり其ソノ人ヒトの好コト用ヨウ
おのしつ仕付シツシケり記キり其ソノ人ヒトの好コト用ヨウ
博ハク達タクの人ヒトは学マナブたり

古今甲胄實頭之事

一縫重小實下地鉄板之板草一板式草
或枚鉄一枚之縫一板之板草一板式草
其石頭山道頭但身以移り
矢管頭一文字
今代の劔頭將某頭立派頭
丁子頭唐崎山道頭知中矢管頭
右下地念と入るる八名縫重と用世

小實者世之實頭ハ鉄一枚之實頭割
付之當世之實頭と云

胸之事

一上六リ胸 背割胸 胸丸 角胸
佛胸 仁王胸 南蠻胸
餓鬼腹胸 麦粒胸 鳩胸
口所蝶番胸 亀甲鍍墨胸
威毛之事

小櫻威	卯花威	緋威	啄木威
糸火威	カレ鳥威	品草威	逆威
白糸威	黒糸威	沢泻威	勝色威
紺糸威	薄紅威	唐綾威	唐錦威
崩黄白	紫裳紺	紫裳紅	節芒目
藤繩目	サカ沢泻	皴草包	唐草包
天鵝絨	毛織包	戾衣包	

系色々事

紫紅	白黒	黄	淺黄	緋
天鵝絨	茗茶	唐茶	檜皮	蔦紅
崩黄	紺瑠璃	啄木	白紫	
カレ鳥毛色打	又縫延	ニシタル有	華菱	或ハ菱

一領一々

一金 金具 事 志 鋼 鉄

有他衾衣裏板一令糸乃彫紋式ハ時法
紋畫彫把多目費級とくううとる

一相引結 平折丸折ハツ折 唐打

貝ノ口 お引結と折一又環こめ 膝

猪口 平折目 但掛ハツ一あてさる

一せめ小とせ水牛 象牙 みが起角

牛角おかり 但塗角 式令糸 赤銅

口歩一銅 十二 想法ぬともさる

一立衣裏 龜甲入家 色織把毛織

式馬皮 志草 真皮及草 菱縫あて

糸とせしるり白りり草りさるるり

一胴裏 辛馬皮 天鵝絨 布り又裏

かきり海り 色皮想令り 名塗うとめ塗う

一ち紐 辛おねきにとるるを環ちなる

とるる又小鷗目打通 ころころ

一らり志めの環あ後よ式つるる

一 笈付肩押付ヲレツケ武カタの同前寸の法フの
下ニ武カタの各ト鷲ト目メるル魚イ一

一 甲ヨロヒ乳チ通トラりニ右ミ寄ヨセ袋クラをツるガイ付氏云た

右ミとト乳チ立タテ氏手拭ヌグ付氏何レ道ミチと用

一 押ツ付カ肩カ通トラり中又又銀ギンをツるモ武カタの是と

紅ベニ總トウ角カクをお進シの法七ヤ矢ヤ摺スリ氏云又又の法

よりしらな右ミ小コ鷲ト目メ武カタの法打ウ磨マ打ウ

四シツツチチの法長チ五イ六ロ尺シの法通トウし常總トウ角カクの法

いフきクを魚一是摺スリ油アブの法と云

一 鼻ハナ紙カミ袋フクロ氏ク茶チ袋フクロ氏ク朋トウ袋フクロに付氏云

亦モ茶チ摺スリ裏ウラの法付ツる中大オホひと云

之レ武カタ小コ鷲ト目メ袋フクロの法四シ角カクおト朋トウの法打ウ釘キ

白シロり今と云魚イと云つとと云

一 針チ算サン下カスり教ふ法之法面オモと云古

代タはハ四シ下カスりの外ソトの法と云是レと云朋トウの法

と云て法頭カミ割カ合ア面オモと云好ヨク次ツギ針チ算サンの法下

洛下書林

永田長兵衛

八尾市兵衛

大坂

川合四郎兵衛

同

增田庄左衛門

板行

貞享元^甲子曆

三月吉且

